



LS Scholarship Fund, Japan

～世界の子供たちに学ぶ機会を！学ぶ喜びを！～

No.3

認定NPO法人LSスコラ育英基金 〒156-0055東京都世田谷区船橋1-25-15

☎&Fax：03-3428-8307

E-mail：scola_japan@yahoo.co.jp、HP：http://scola.web.fc2.com/index.html/

郵便振替番号：00100-0-767496 特定非営利活動法人LSスコラ育英基金

＜平成30年度の活動スタート＞

平成30年度の事業年度に入って3ヶ月が経過しました。この間、認定NPO法人として、監督官庁(東京都庁)への事業報告書等の提出(事業報告/計画/役員変更届/資産変更届/認定に伴う規程等々)とそのための理事会/総会開催、更には新年度での事業の遂行(アフリカの学校での教材等の購入支援)等も進めてきました。今年度の役員の一覧は右表の通りです。

平成30年度役員

理事長	中村勝洋
副理事長	大坂恒悦
理事	宇野哲人
理事兼事務局長	黒木秀敏
理事	松崎潤一
監事	岡田利雄

役員一同、一丸となって、事業遂行・課題解決に対処します。新役員としては、税所氏に替わり松崎氏、隈部氏に替わり岡田氏、が新たに就任しました。税所氏と隈部氏の、これまでの役員としてのご苦勞に感謝致します。またサポーターをはじめ多くの皆様方のご理解ご支援に感謝致します。

(理事長 中村勝洋)

○新役員の御挨拶

◇新理事 松崎潤一

理事就任にあたって抱負を述べます。SCOLAはこれまで、22回にわたり国内および発展途上国の子供たちが、落ち着いて勉強に励める環境を整備すべく、さまざまな支援を行なって来ました。これらの支援は継続的に実施して行かねばなりません。その為には皆様の一層のご理解と新規サポーター獲得が重要です。新任の理事としてしっかり取り組みます。宜しく願い致します。

◇新監事 岡田利雄

この度、監事を拝命しました岡田利雄と申します。総合保険代理店に勤務しております。LSスコラ育英基金は認定NPO法人として、寄付金につきましては確定申告をする事により税控除の対象となっていますが、東京都に詳細かつ正確に活動状況を報告し、監査を受ける義務を負っています。監事として、コンプライアンスに則った、透明性の高い活動であるかをチェックし、働きかけて参りたいと思います。皆様のご支援をお願い申し上げます。

<2018年度活動報告>

2018年度上期は以下のプロジェクトへの支援を行いました

1.ブルキナファソにあるキリ中等部校に対する教具類購入支援

アフリカのブルキナファソ国の地方にあるキリ中等部校は、最寄り都市部の急激な人口増に伴って学校が大変混雑し、結果教育を受ける機会が制限され、やる気を失ったり、学業を放棄したり、非行に走ったりなど悪い影響が出ています。中でも貧しい家庭の子供が一番その影響を受けています。



学ぶ機会に恵まれない家庭の子供たちに質の高い教育を提供し、卒業後のキチンとした生活を準備するため、テーブル、机、イス、食器棚、クローゼットといった教室用備品類の購入に必要な資金(19,112ドル)の支援を6月に行いました。

(事務局コメント)

<生前贈与>

【6月29日:ご本人からの原稿】

2003年の発足以来ラサール育英基金(現LSスコラ育英基金)に多くの同窓生が寄付金を寄せて頂きました。

毎年一定金額を長期にわたり銀行引き落とし方式で寄付される方は100名を超えています。又地区同窓会やゴルフコンペ等の機会に寄付金を寄せて下さる方々や、亡くなった同窓生のご遺族から故人の遺言で贈与を頂くケースも増えています。

これらの寄付に加え私は生前贈与の方式を導入したいと考え、“先ず隗より始めよ”で生前贈与を実行したわけです。死んでから家族に煩雑な手続きをさせないためです。

ささやかな贈与ですが育英事業の為になれば幸いです。

鳥越重二(鹿2期)

「ラ・サール同窓会育英基金」委員会の初代会長の鳥越重二氏(鹿2期)から「生前贈与」のお申し出があり、第1回目のご意思を4月に頂戴しました。

校庭にムシロを敷いて行われた入学式の頃入学し、社会に出てからは商社マンとして世界中を渡り歩いた鳥越氏にとって、若い時「学ぶ機会」を与えられることがどんなに有難いことかを心に刻み込まれたようです。

委員会の立ち上げを積極的に行うほか、卒業50周年記念行事においては同期の方から100万円を集め寄付して下さいました。

(理事・事務局長:黒木秀敏)

<SCOLAロゴの設定について>

LSスコラ育英基金に、以前からパンフレットなどで使ってきたロゴ・マークはありました。

ところが今年3月、ローマにあるラ・サール国際連帯基金の広報担当ローラ・バレリーニ部長から「当方では新しいWeb Siteを準備中ですが、協力して下さる団体へ感謝するため、協力して下さっている皆様のサイトを設けようと思っています。そのために貴団体のロゴの使用許可得られないものかと考えています。」とロゴの使用許可の問合せがありました。

そこで皆で話し合い、従来のロゴ・マークの下に「LS Scholarship Fund, Japan」と入れた以下のロゴで登録することとしました。



現在既に以下のWeb Siteに、「Our Partners」として他の団体と一緒に掲載されています。

<https://www.lasallefoundation.org/our-partners/>

(事務局コメント)

Our Partners (抜粋)



2017年度事業収支報告 (2017年4月1日～2018年3月31日)

活動計算書 (単位:千円)

科目	金額
I 経常収支	
受け取り寄付金	2,976
利息収入	1
経常収支合計	(2,977)
II 経常費用	
支払寄付金	4,005
海外送金手数料	13
事業費計	(4,018)
業務代行手数料	254
その他管理費	141
管理費計	(395)
経常費用合計	(4,413)
当期正味財産増減額	△1,436
前期繰越正味財産額	22,962
次期繰越正味財産額	21,526

(要約)

- ・2017年度に皆様からいただいた寄附金の総額は2,976千円で、前年度に比べ1,148千円の減少となりました。前年度に1,000千円の大口寄附があったことの影響によるものです。
- ・寄附いただいた皆様は、179名で前年度に比べ14名の増加となりました。
- ・認定取得を契機に、寄附者の拡大を図った結果、専用の「払込取扱票」を使った寄附が30件ありました。
- ・支援寄附先は海外2件で、目途としている「いただいた寄附金額の70%」を大きく上回りましたが、前年度実施分と合算すると、95%となりました。今後とも、基金の目的に合った支援先の開拓に努めてまいります。
- ・次期繰越正味財産額は全額、銀行預金であります。

(理事・事務局 宇野哲人)



事務局からのお知らせ

- ・SCOLAとともに、ゆうちょ銀行の「払込取扱票」を同封いたしましたのでご活用ください。
- ・本年より、年末調整時に「寄付金受領証明書」をお送りしていますが住所変更が発生した場合には、メールまたは電話にて当基金事務局までご連絡くださるようお願いいたします。

(理事・事務局 宇野哲人)

SCOLA第3号をお届けします。感想、ご意見、ご希望などお寄せいただければ幸いです。 編集・印刷:事務局 紺野晃則

E-mail : scola_japan@yahoo.co.jp